

第3回水道ダム交流講演会 開催報告

活性化推進小委員会委員長 川崎 秀明

活性化推進小委員会 中部・近畿幹事 久保 裕基

活性化推進小委員会 中部・近畿幹事 石井 秀紀

1. はじめに

ダム工学会では、2024年の水道ダム行政の国土交通省への移管を機に「ダム技術者、水道関係者、ダム愛好家及び一般市民の交流する場」として「水道ダム交流講演会」を企画し、これまでに水道創設期の歴史ダムのある佐世保市（2025.1.16）と東京都村山市（2025.12.16）において開催しました。

今年度も、神戸市水道局、舞鶴市上下水道部および兵庫県土木部のご協力のもと、「第3回水道ダム交流講演会」を、8月27日に神戸市、翌28日に舞鶴市において2日間にわたり開催いたしました。

神戸市では、午前には布引ダムの現地見学会を実施し、午後にはWEB配信を併用した講演会を開催しました。舞鶴市では、午前にはパネルディスカッションを実施した後、午後に市内の水道施設を巡る見学会を行いました。

ダム工学会「第3回水道ダム交流講演会」のご案内

主催：ダム工学会 協力：神戸市水道局／舞鶴市上下水道部／兵庫県土木部
協賛：公益社団法人日本水道協会／ダム工事総括管理技術者会／一般社団法人建設コンサルタンツ協会

水道ダムは日本の近代化において重要な役割を果たし、今でも市民生活の根幹を担っています。そこでダム工学会では、2024年の水道ダム行政の国土交通省への移管を機に「ダム技術者、水道関係者、ダム愛好家及び一般市民の交流する場」として「水道ダム交流講演会」を企画し、これまでに水道創設期の歴史ダムのある佐世保市（2025.1.16）と東京都村山市（2025.12.16）において開催しました。

今年度も同様に、神戸市水道局、舞鶴市上下水道部、兵庫県土木部の協力のもと、「第3回水道ダム交流講演会」（web参加も可能）を8月27日に神戸市において開催いたします。

また、同日午前には、近くにある布引ダム現地見学会も用意しております。さらに今回は、特別に翌8月28日に舞鶴市において旧海軍建設の桂取水堰堤と岸谷取水堰堤の現地見学会も用意しております。

ご興味のある方にはぜひとも参加頂き、より深く水道ダムについてご理解頂ければ幸いです。

8月27、28日の全プログラムは無料であり、それらの内容は以下の通りです。お手数ながら下記URLで事前申し込みの上で（締切りは定員満了時か8月25日まで）、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

2026年7月

申込み URL：<https://forms.gle/Fdh7itiEkthEDgmMA>

一般社団法人 ダム工学会 活性化小委員会

【8月27日(木)】於：兵庫県私学会館、定員：会場参加 80名+web 参加 400名

講演会テーマ：神戸の恩人・佐野藤次郎博士と水道ダム三昧

国内近代ダムの歴史の上で欠かせない土木技師が佐野藤次郎（1869～1929）です。佐野博士は、日本初のコンクリートダムである布引ダムの建設（1900年完成）に携わって以降、神戸市民の暮らしを支える水道施設の基盤を築いたことで、今でも神戸の恩人として慕われています。佐野博士の設計したダムは神戸市3ダム以外にも全国にあります。これらは日本の近代化遺産として現在に引き継がれています。今回の講演会では佐野博士の設計した神戸市のダムと全国にある博士設計の数ダムについて今まで語られなかった面にも焦点を当てることで、水道ダムの新たな価値を見出し、現況課題解決への手がかりとするものです。

また舞鶴鎮守府の軍用水道は、神戸市と同時期に、佐野博士の師である吉村長策博士の指揮によって創設されましたが、同様の歴史価値と現況課題を有することから追加し、講演会の意義を高めています。

ちなみに今回、国内コンクリートダム第1号の布引ダムと第2号の桂野水池堰堤（1900年完成）を扱うこととなりますが、これは日本の近代化の曙を知る絶好の材料でもあります。

プログラム (受付)13:00 開会13:30～ 閉会16:00予定

MC：ダム愛好家 夜雀

開会挨拶 ダム工学会 会長：山口 嘉一

キーノート「国内海外の時代考証から語る新たな佐野藤次郎像」風土工学デザイン研究所 主宰：川崎 秀明

講演「舞鶴軍港水道と取水堰堤」舞鶴市近代化遺産保存センター 客員研究員：神田 秀之

講演「歴史的な水道ダム～布引ダムについて～」神戸市水道局 浄水統括事務所 所長：松田 康孝

講演「千河ダムの治水活用について」兵庫県 総合治水課 施設班長：谷元 雅哉

総括 ダム工学会中部・近畿ブロック 委員長：角 哲也

図 1.1 (1) 水道ダム交流講演会 フライヤー

講演会：兵庫県私学会館

ダム工学会 布引ダム現地見学会

定員40名、参加費 無料

開催：2026年8月27日（木）午前

9:30 ハーブ園山麓駅 集合

9:30～10:00 風の丘中間駅へ移動
(移動：ロープウェイ)

10:00～11:30 布引ダム見学ほか

11:30の現地解散後は、参加者各位で講演会会場への移動をよろしくお願いいたします。



舞鶴編・【8月28日(金)】於：舞鶴市赤レンガ4号棟、定員：会場参加40名

パネルテーマ：舞鶴市水道の原点・海軍水道と土木技術

舞鶴市では、1901年の舞鶴鎮守府開庁に伴い、軍港建設と近代水道創設が為されました。水道の目的は海軍工廠や艦艇への給水であり、桂野水池（1900年完成）と岸谷貯水池（1921年完成）が建設されました。

8月28日は、午前にパネルディスカッション形式で、「どのような技術でダムが造られたか」や「それらが戦後どのように舞鶴市水道へ受け継がれたか」などという技術者・ダム愛好家等の視点から、舞鶴市水道事業の歴史について意見交換します。

語り部の神田秀之さんは、舞鶴市に現存する旧海軍水道施設や戦前に造られた第三火薬庫の水道について現地調査・歴史資料・構造調査をもとに、『舞鶴市の海軍水道遺構と杉山水源水道の調査報告 ― 初期舞鶴市水道の姿を探して』など、海軍水道に関する論文を数多く発表されています。

プログラム予定 (受付)9:30 開会10:00～ 閉会11:00予定

MC：ダム愛好家 夜雀

パネルディスカッション プレゼンター

舞鶴市近代化遺産保存センター 客員研究員：神田 秀之、風土工学デザイン研究所 主宰：川崎 秀明

ダム工学会 桂取水堰堤ほか現地見学会

定員40名、参加費 無料

開催：2026年8月28日（金）

09:30 舞鶴市赤レンガ4号棟 集合

パネルディスカッション 10:00～11:00

11:00～12:00 旧北吸配水池 見学・移動

12:00～13:00 昼休憩（赤れんがパーク）

13:20～15:30 見学：桂取水堰堤ほか

15:30～16:00 東舞鶴駅（解散可能）

16:00 舞鶴市役所（バス無料）解散

図 1.1 (2) 水道ダム交流講演会 フライヤー

第3回
水道ダム交流講演会
 神戸の恩人・
 佐野藤次郎博士と水道ダム三昧

神戸編

2026.8.27 THU

9:30～16:00

参加費

無料

募集人数

現地：40名 会場：80名 Web：400名

※集合場所・講演会場までの交通費・昼食代は参加者各自でご負担ください。

◆ スケジュール ※敬称略

●…現地見学会 ●…講演会（MC：夜雀）

9:30
ハープ園山麓駅 集合

9:30～10:00
風の子中間駅へ移動
(移動：ロープウェイ)

10:00～11:30
布引ダム 見学
○布引ダム
○雌道取水堰堤

11:30～13:30
昼休憩、講演会場へ移動
(移動：地下鉄)

13:00 (受付開始)
講演会
(兵庫県私学会館/Web配信あり)

13:30～
開会の挨拶
○開会の辞
(ダム愛好家：夜雀)
開会の挨拶
(ダム工学会 会長：山口 嘉一)

国内海外の時代検証から語る
新たな佐野藤次郎像
(国土工学デザイン研究所
主宰：川崎 秀明)

舞鶴軍港水道と取水堰堤
(舞鶴市近代化遺産保存センター
客員研究員：神田 秀之)

歴史的な水道ダム
～布引ダムについて～
(神戸市水道局 浄水統括事務所
所長：松田 康孝)

千引ダムの治水活用について
(兵庫県 総合治水課
施設班長：谷元 雅哉)

総括
(ダム工学会中部・近畿ブロック
委員長：角 哲也)

16:00
閉会の挨拶
(ダム愛好家：夜雀)

◆ 集合場所

★…現地見学会集合場所 ★…講演会集合場所

- 「風の子中間駅」までは「ハープ園山麓駅」からロープウェイをご利用ください。
- 「JR新神戸駅」から「ハープ園山麓駅」までは徒歩5分程度の距離です。

※交通費は参加者各自のご負担をお願いします。

千引ダムの放水トンネル出口

◆ 昼食について

- 現地見学会終了後は、昼休憩・移動時間内で、各自昼食を済ませた上で講演会場へのご移動をお願いいたします。
- お弁当をご持参いただき、講演会場内での食事も可能です。

◆ WEB参加者用視聴URL

開催時刻になりましたら、下記URLよりご参加ください。

URL：<https://teams.microsoft.com/meet/4137970897416?p=7UXV8Dnlw8fRYz4QHe>

図 1.2 (1) 水道ダム交流講演会（神戸編） パンフレット

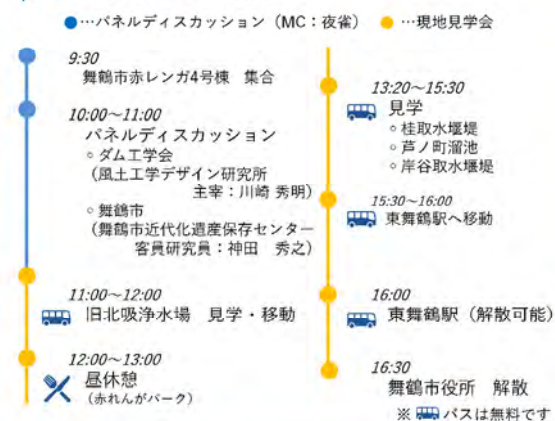


参加費 **無料**

※集合場所までの交通費・昼食代は参加者各自でご負担ください。
(現地見学会のバスは無料です。)

募集人数 **40名**

◆ スケジュール ※敬称略



◆ 集合場所



赤レンガパークHP



◆ 昼食について

- ・パネルディスカッション終了後は、昼休憩時間内で各自昼食をお済ませください。
- ・赤レンガパーク内に食堂・カフェがあります。
<https://akarenga-park.com/>
- ・お弁当をご持参いただき、パネルディスカッション会場での食事も可能です。

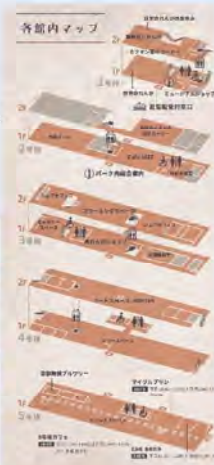


図 1.2 (2) 水道ダム交流講演会 (舞鶴編) パンフレット

2. 水道ダム交流講演会

2.1 神戸編

開催概要は以下のとおりです。

●開催日時：2026年8月27日（木）13:30～16:00

●プログラム：13:30～13:35：開会の挨拶

山口 嘉一（ダム工学会会長）

13:35～14:35：キーノート 国内海外の時代考証からの新たな佐野藤次郎像

川崎 秀明（ダム工学会活性化推進小委員会委員長）

14:40～15:05：講演①舞鶴市水道ダム

神田 秀之 様（舞鶴市近代化遺産保存センター）

15:05～15:30：講演②神戸市にある歴史的な水道ダム～布引ダムについて～

松田 康孝 様（神戸市水道局 浄水統括事務所所長）

15:30～15:55：講演③千苧ダムの治水活用について

谷元 雅哉 様（兵庫県土木部 総合治水課 施設班長）

15:55～16:00：総括

角 哲也（ダム工学会中部・近畿ブロック委員長）

●司会進行：夜雀様（ダムマイスター(一般) 01-003)

●会場での公聴および Teams によるライブ配信

兵庫県私学会館の会場にて開催するとともに Teams によるライブ配信を実施しました。また視聴者の皆様にも番組に参加いただく方法として、配信中にチャットでコメントを寄せていただく方法を採用しました。

以下に開催内容の概要を記載します。

(1) 配信内容

表 2.1 配信内容

演 目	講演者
キーノート 国内海外の時代考証からの 新たな佐野藤次郎像	■川崎 秀明 様 (ダム工学会活性小委員会 委員長)
講演①舞鶴市水道ダム	■神田 秀之様 (舞鶴市近代化遺産保存センター)
講演②神戸市にある歴史的水道ダム ～布引ダムについて～	■松田 康孝 様 (神戸市水道局 浄水統括事務所 所長)
講演③千苺ダムの治水活用について	■谷元 雅哉 様 (兵庫県土木部 総合治水課 施設班長)

■オープニング

ダム工学会山口会長より、開会挨拶としてお言葉を頂戴致しました。

ダム工学会としての水道ダムへの取り組みについてもご説明いただきました。



図 2.1 山口嘉一氏による開会の挨拶

① キーノート 国内海外の時代考証からの新たな佐野藤次郎像

川崎 秀明 様

(ダム工学会活性小委員会 委員長)

ダム工学会活性小委員会の川崎委員長より、明治大正期のダム設計の偉人である佐野藤次郎についてご紹介いただきました。

午前中に現地見学を行った布引ダムと、佐野藤次郎との関わりについてもご説明いただきました。

会場から銘板に関する質問があり、川崎様とのディスカッションにより理解を深める場面も見られました。



図 2.2 川崎秀明様による講演

② 講演① 舞鶴市水道ダム

神田 秀之 様

(舞鶴市近代化遺産保存センター)

舞鶴市近代化遺産保存センターの神田様より、近代水道の歴史と、明治～大正～昭和に建設された舞鶴市の水道施設と取水堰堤について、舞鶴の軍港として発展した歴史的背景を踏まえてご紹介いただきました。



図 2.3 神田秀之様による講演

③ 講演② 神戸市にある歴史的な水道ダム ～布引ダムについて～

松田 康孝 様

(神戸市水道局 浄水統括事務所所長)

神戸市水道局の松田様より、神戸市の水道専用ダムについてご紹介いただきました。
阪神淡路大震災を踏まえた布引ダムの耐震補強に関して、計算結果を踏まえた設計等について詳しくご説明いただきました。

講演後に会場参加者とのディスカッション（質疑応答）があり、布引ダムの理解をさらに深める場面も見られました。



図 2.4 松田康孝様による講演

④ 講演③ 千苅ダムの治水活用について

谷元 雅哉 様

(兵庫県土木部 総合治水課 施設班長)

兵庫県土木部の谷元様より、水道ダムとして建設された千苅ダムの治水活用についてご紹介いただきました。

また、千苅ダムの位置する武庫川流域の災害発生時の危険度と被害想定およびそれに対する武庫川の総合的な治水対策についてご説明いただきました。



図 2.5 谷元雅哉様による講演

(2) 総括・閉会の挨拶

ダム工学会中部・近畿ブロック角委員長より総括を、夜雀様より、閉会の挨拶をいただきました。



図 2.6 角哲也氏による総括（左）、夜雀様による閉会の挨拶（右）

2.2 舞鶴編

開催概要は以下のとおりです。

●開催日時：2026 年 8 月 29 日（金）10:00～11:00

●プログラム：10:00～11:00：パネルディスカッション

神田 秀之 様（舞鶴市近代化遺産保存センター）

●司会進行：夜雀様（ダムマイスター(一般) 01-003）

以下に開催内容の概要を記載します。

■パネルディスカッション

舞鶴市近代化遺産保存センターの神田様より、舞鶴市の水道施設と取水堰堤について神戸編よりも詳しくご説明いただきました。

講演会後の現地見学会で訪問予定の各施設について詳しいご説明をいただき、参加者一同大変興味深く話を聞き、現地見学会への期待が一層高まりました。

パネラーの川崎委員長や MC の夜雀様とのディスカッションや会場からの質疑応答も活発に行われ、予定時間を最大に活用したパネルディスカッションとなりました。



図 2.7 神田秀之様による講演

3. 現地見学会

【神戸見学会】

- ・実施日時：2026 年 8 月 27 日（木）AM10:00～11:30
- ・天候：晴
- ・見学場所：布引ダム
- ・概略行程：神戸布引ロープウェイ・風の丘中間駅 → 布引ダム → 布引の滝 → 新神戸駅
- ・参加人員：33 名（神戸市水道局様 3 名（案内役）、一般 15 名、事務局 15 名）
- ・見学内容（概要）：

当日は、予定通り AM10:00 に参加者全員が神戸布引ロープウェイ・風の丘中間駅に集合し、神戸市水道局小森係長の案内のもと、布引五本松ダムを目指しました。

布引ダムへの道路はハイキングコースで、約 30 分ほどで布引ダムへ到着しました。

布引ダムでは普段立入禁止の天端を開放して頂き、神戸市水道局の松田所長から、ダム施設の説明を受けました。

雨不足で貯水位は低かったものの、天端からは上流の取水塔、直下流の浄水場、ロープウェイ、神戸市街地を見渡すことが出来ました。

その後は布引の滝、雌滝取水堰堤などを楽しみながら、予定通り AM11:30 に新神戸駅に到着しました。

【舞鶴見学会】

- ・実施日時：2026 年 8 月 28 日（金）午前の部__AM11:00～12:00
午後の部__PM1:20～4:30

- ・天候：曇りのち晴れ
- ・見学場所：旧北吸浄水場、桂貯水池・堰堤、芦ノ町溜池、岸谷貯水池・堰堤
- ・概略行程：午前の部__舞鶴市役所前 → 旧北吸浄水場 → 舞鶴市役所前
午後の部__舞鶴市役所前 → 桂貯水池・堰堤 → 芦ノ町溜池 →
岸谷貯水池・堰堤 → 東舞鶴駅 → 舞鶴市役所前

- ・参加人員：33 名（舞鶴市近代化遺産保存センター1 名（案内役）、舞鶴市水道局 3 名（案内役）、一般 15 名、事務局 14 名）
- ・見学内容（概要）：

■午前の部

午前中は、舞鶴市赤レンガ 4 号館で実施されたパネルディスカッションに参加したのち、AM11:00 に舞鶴市役所前から、マイクロバスと乗用車に分乗し、旧北吸浄水場に向かいました。

約 10 分で旧北吸浄水場に到着後は、普段立ち入ることが出来ない浄水場の扉を開けて頂き、レンガ造りの迷路のような沈砂池の隔壁の中を歩きながら、舞鶴市近代化遺産保存センターの神田客員研究員より、各種施設の詳しい説明を受けました。

なお、浄水場の入り口にある広場からは、眼下に広大な舞鶴軍港を見渡すことが出来ました。

■午後の部

午後もマイクロバスと乗用車に分乗して、予定通り PM13:20 に舞鶴市役所前を出発し、3ヶ所の施設を神田客員研究員の説明を受けながら見学しました。

1箇所目の桂貯水池では、荒れた山道を5分ほど歩いて堰堤の下流に到着、苔むしてすっかり周りの自然に同化している堰堤を下流から見学したのち、底樋の出口から内部を見せて頂きました。

その後徒歩で天端に移動、その際神戸市水道局の方が取水バルブを閉じて、堰堤から越流する状況を見せて下さいました。

2箇所目は桂貯水池の右岸側にある芦ノ町溜池に徒歩で向かいました。

ここでは、左岸にある記念碑や右岸の洪水吐き呑口にあるラビリンスなどを見せて頂きました。

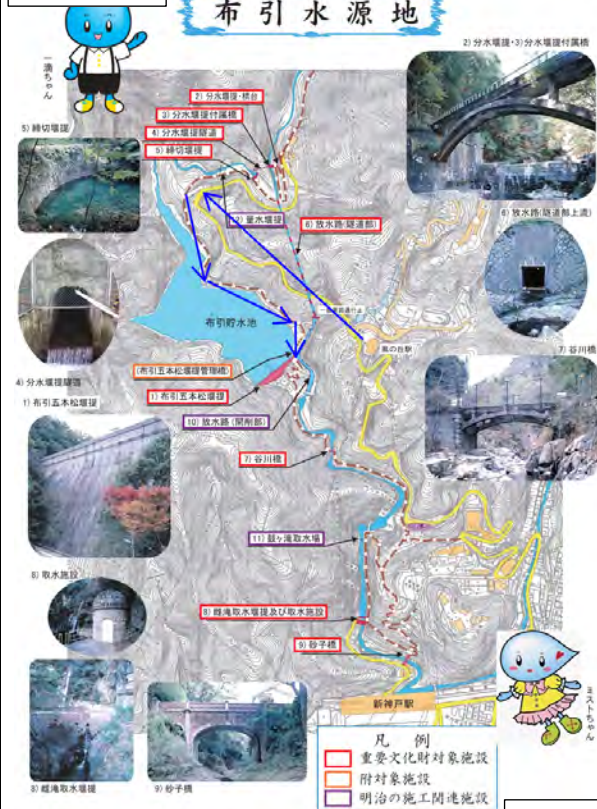
3ヶ所目の岸谷貯水池・堰堤へはマイクロバスと乗用車で向かいました。

ここも普段は入れない施設ですが、先ず堰堤下流の底樋の出口から内部を見せて頂いたのちに天端に移動し、天端に遺跡のように残っている建物の基礎や右岸の洪水吐きのシュート部がカスケードになっている様子などの説明を受けました。

その後、予定通り、東舞鶴駅と舞鶴市役所前に参加の方々をお送りし、無事見学会を終了しました。

【神戸見学会 (1/2)】

①見学ルート



②ロープウェイから布引ダムを臨む



③散策路からダムを臨む



④洪水吐き上部の棧橋からダムを臨む



⑤ダム天端



⑥ダム天端から左岸下流を臨む



⑦天端の名盤



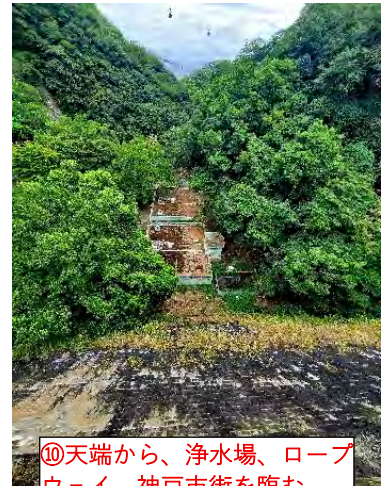
⑧取水塔



⑨ゲート巻上機



⑩天端から、浄水場、ロープウェイ、神戸市街を臨む



⑪布引ダム天端左岸広場で記念撮影



⑫下流の散策路からダムを臨む



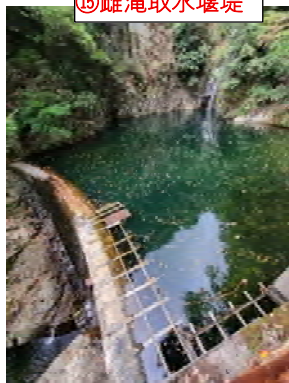
⑬下流の散策路からダムを臨む



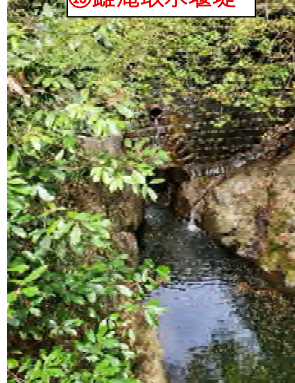
⑭布引の滝



⑮雌滝取水堰堤



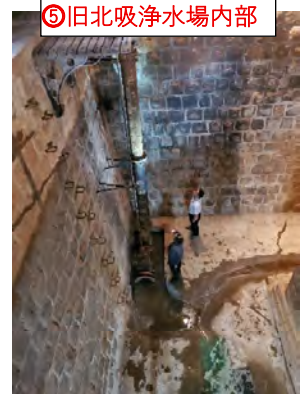
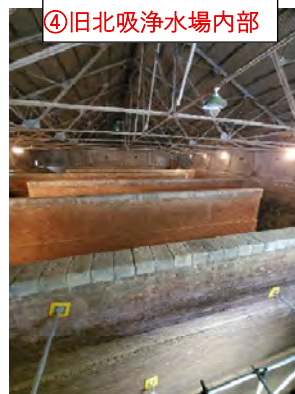
⑯雌滝取水堰堤



⑰堰堤を見学する参加者



①見学場所



⑦桂堰堤を下流から臨む



⑧桂堰堤の底樋の出口



⑨桂堰堤底樋出口の扁額



⑩桂堰堤底樋出口から内部を臨む



⑪桂堰堤を下流から望む（放流中）



⑫桂堰堤の天端



⑬桂堰堤の天端



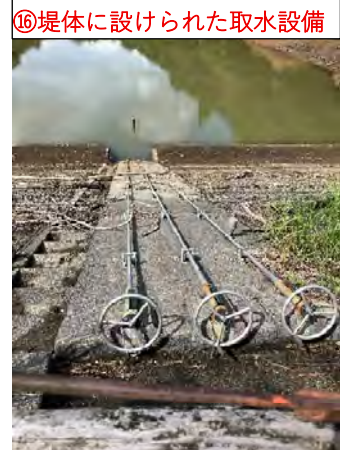
【舞鶴見学会__午後の部 (2/2)】



⑭芦ノ町溜池堰堤



⑮左岸の記念碑



⑯堤体に設けられた取水設備



⑰芦ノ町溜池の天端



⑱芦ノ町溜池堰堤洪水吐き呑口のラビリンス



⑲岸谷貯水池堰堤の底樋



⑳岸谷貯水池堰堤の天端



㉑天端に残させた建物基礎



㉒岸谷貯水池堰堤の天端



㉓洪水吐きシュート部のカスケード

4. さいごに

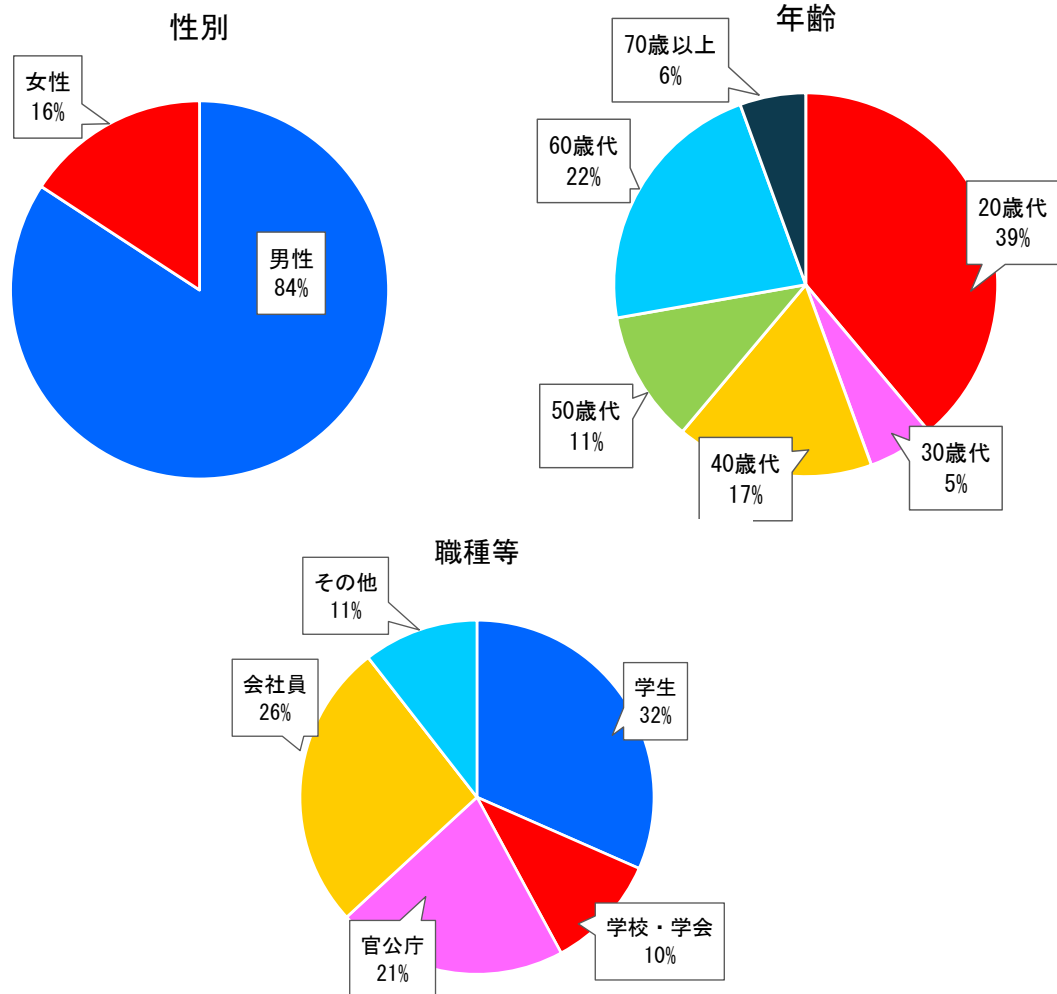
会場での参加者は、社会人 26 名、大学生 6 名の計 32 名の参加者数でした。Teams 配信も併用することにより、32 名の方がお住まいやご予定に関係なく気軽に参加でき、水道ダムについての魅力を十分に発信できたと思います。

次頁以降に参加者の皆さまのアンケート結果を掲載いたしますが、見学会、トークショーともの概ね満足いただいた結果となりました。

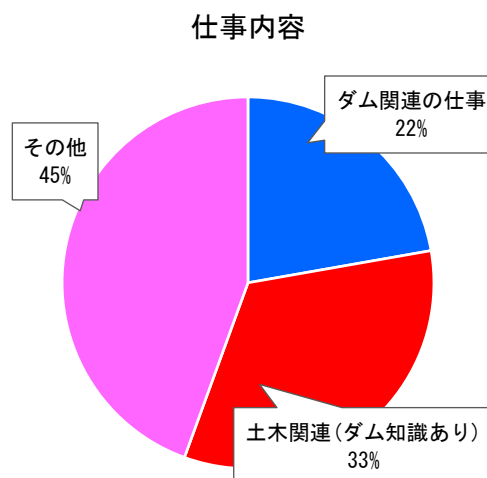
最後に、イベントにご協力いただいたダムマイスターの夜雀様、舞鶴市近代化遺産保存センター 神田様、神戸市水道局 松田様、兵庫県土木部 谷元様、神戸市水道局様、舞鶴市水道局様などの関係者の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

● アンケート結果（神戸編）

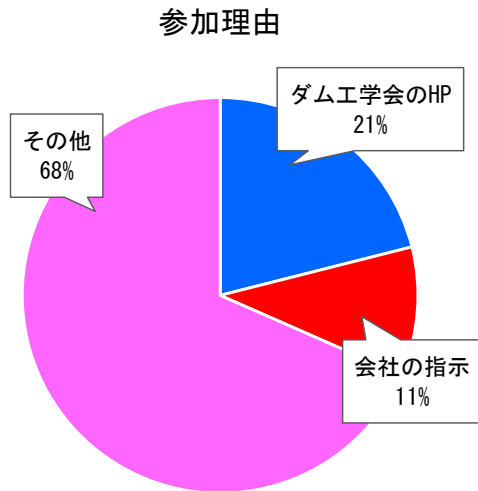
1. 参加された方の性別、年齢、職種等



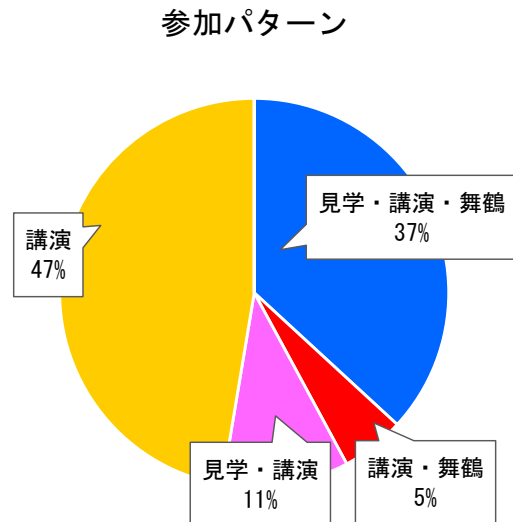
2. 仕事の内容は？



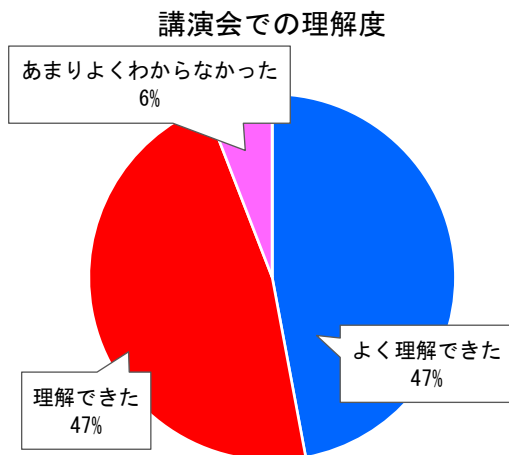
3. イベントへの参加理由



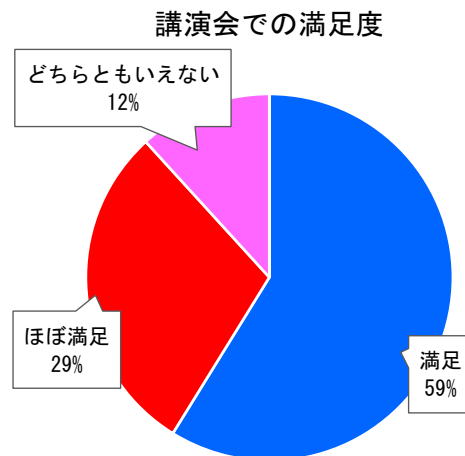
4. 複数の参加方法があったが、どの方法か？



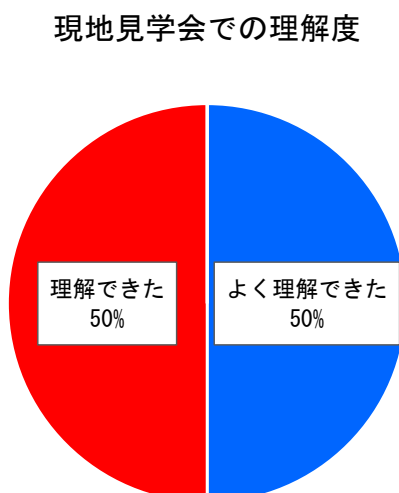
5. 講演会での理解度は？



6. 講演会の満足度は？



5. 現地見学会での理解度は？



6. 現地見学会の満足度は？

